
「肺癌の分子病理学的特性の解明」に関するお知らせ

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2013年10月1日から2023年9月30日の間に神奈川県立循環器呼吸器病センターと横浜市立大学附属市民総合医療センターで肺癌と診断された患者さんを対象としております。埼玉医科大学・病理学教室ではこれらの医療機関を共同して「肺癌の分子病理学的特性の解明」のための研究を行なっています。

2. 研究の目的

この研究では、がん細胞の性質を詳しく調べるとともに、患者さんの遺伝子の特徴を血液や診療上必要な検査等のために既に採取してある組織の残余により調べ、肺癌の分子病理学的特性を明らかにすること目的としています。将来的には、肺癌の予防、早期診断、新しい治療法の開発につながることを期待できます。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2030年 3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年3月17日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

血液、病理組織検体、検査データ、画像データ(CT、PET等)、診療記録(年齢、性別、喫煙歴、既往歴・合併症、生命予後など)

この研究で得られた患者さんの試料・情報は、当該の試料・情報を採取した病院において、各施設の研究責任者が個人の特特定できないように加工した上で、埼玉医科大学病理学研究室に集約し、研究代表者である奥寺康司(埼玉医科大学・医学部・病理学/埼玉医科大学病院・中央病理診断部)が保管いたします。患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

検査の際に採取された血液および手術で切除された肺組織の残余、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（共同研究施設）

- ・埼玉医科大学病院 中央病理診断部 奥寺 康司（研究代表者）
- ・埼玉医科大学国際医療センター 中央研施設 佐藤 哲也
- ・神奈川県立循環器呼吸器病センター 病理診断科 澤住 知枝
- ・埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 本間 琢
- ・埼玉医科大学総合医療センター 病理部 東 守洋
- ・昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科 小池千尋
- ・横浜市立大学附属市民総合医療センター 呼吸器外科 禹哲漢
- ・タカラバイオ，マクロジェン社，SRL，BML，DNA チップ研究所等（遺伝子解析を業務委託）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

・ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

○研究課題名：肺癌の分子病理学的特性の解明

○研究代表者：埼玉医科大学病院 中央病理診断部 奥寺 康司

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1164（土日祝日を除く 9：00～17：00）

メールアドレス：kojixok@saitama-med.ac.jp